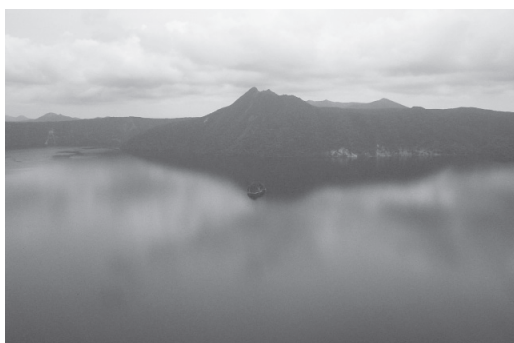


課題 空気中の水蒸気の変化について考えよう

朝



昼



◎上の写真からわかることや疑問に思うことを挙げてみよう。

○写真からわかること、疑問に思うことをもとに考えよう。

1. 霧の正体は何か。

2. 霧が晴れるのにどのような気象要素が関係しているか。

3. \_\_\_\_\_  
について、1、2をもとに考えよう。

自分の考え

他の人の考え

最終的な自分の考え

**課題** 空気中の水蒸気の変化について考えよう

**目的** 空気中の水蒸気は、どのようなときに水になるか調べる。

**【疑問】** 露点を測定するには、どんなところに着目すれば良いだろう？

◎着目点をもとに観察方法を考えよう。

1. 観察に使用できるもの ※次の道具を使用することができる。他に使用したいものがある場合は、先生に伝えよう。

ビーカー、金属製のコップ、温度計、大型試験管、くみ置きの水、氷、セロハンテープ など

2. 実験方法について、着目点と 1 をもとに考えよう。

自分たちが考えた実験方法

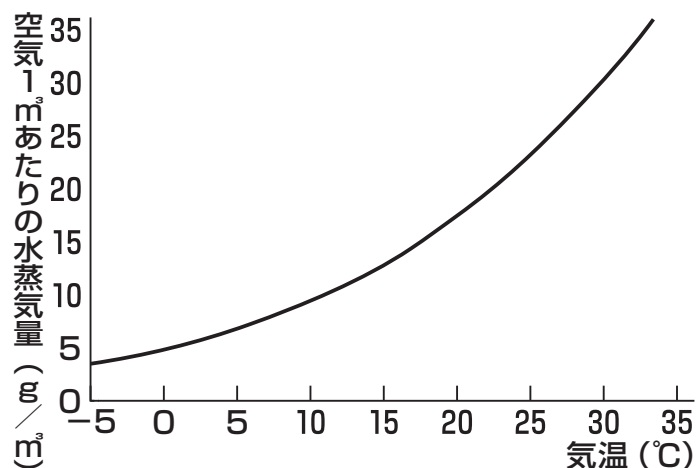
他の班の考え

最終的に決定した実験方法

3. 結果 天気 \_\_\_\_\_

はじめの水温 (°C)	気温 (°C)	くもり始めの水温 (°C) [露点]

**課題** 空気中の水蒸気の変化について考えよう



○飽和水蒸気量

◎飽和水蒸気量のグラフを見て気がついたことを書き出そう。

自分の意見	他の人の意見

**【考察】**

1. グラフに露点を当てはめてみよう。どんなことが言えるだろう。

2. そのままの気温でコップがくもらないのはなぜか。グラフをもとに考えよう。

3. 観察時の教室の湿度を求めよう。

式

答. \_\_\_\_\_ %

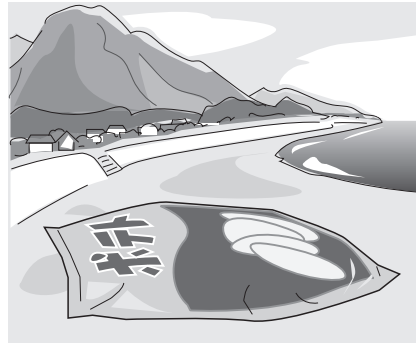
◎もし、観察した日に（ ）だったら湿度はどうなっていたと考えられるか。

課題 上空の気圧について考えよう

ア



イ



1. 上の2枚の写真のうち、気圧が低いのはどれか。

答 \_\_\_\_\_

2. 2枚の写真のうち、どちらが標高が高い場所で撮影したと考えられるか。その理由も考えよう。

答 \_\_\_\_\_

【理由】

○簡易気圧計を用いて、校舎の最上階と1階での気圧の違い比べよう。

○標高と気温の関係についてどんなことが言えますか。

◎今日の学習から、標高と気圧の気温の関連についてまとめよう。

**課題** 雲はどのようにしてできるのだろうか

**【確認】**

○雲は何からできているか ( )

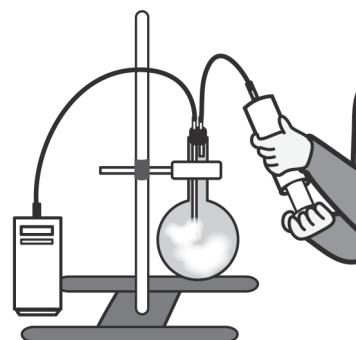
○雲はどこでできるか ( )

◎雲ができる条件を考えよう。

**【実験】 雲をつくる**

右図のような装置をつくり、少量の水と線香の煙を入れ、注射器で空気を抜いたり入れたりしてみよう。

※温度計にも注目しよう。



○結果

注射器を引いた時のフラスコ内のようす	注射器を押して空気を入れた時のフラスコ内のようす

○考察

1. 雲ができる条件を実験から考えよう。

注射器	圧力	温度	雲
引く			
押す			

2. さらに雲が発達するにはどのようなものが必要だと考えられるか。

課題 雨や雪のでき方を理解しよう

【疑問】 雲が落ちてこないのはなぜか。

自分の考え

他の人の考え

◎雲（水滴）が落ちてくる条件を考えよう。

自分の考え

他の人の考え

結論

○先生の説明からわかったことを記録しよう

**課題** 水はどのように姿を変えながら循環しているのだろうか。

◎水の循環についてグループ内で、どちらか選んで説明しよう。

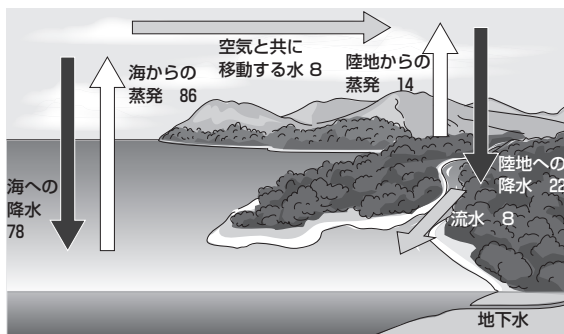
1. 海に降った雨水が再び雲になるまで
2. 陸に降った雨水が再び雲になるまで

○自分が選んだ番号 [      ]

説明する内容をまとめよう

## ○他の人の発表を聞いて気がついたこと

◎水の循環の図を見て気がついたことをまとめよう。



○地球の水を循環させている力のもととは何か（ ）

◎これまでの「天気の変化」の学習を通して、わかったことを思いつく限り書き出してみよう。